

# 平成24年度 地域産業復旧・復興支援事業（Bタイプ）

## ふくしまキッズ博実行委員会

### ふくしまキッズ博実行委員会（福島県）



## 「ふくしまキッズ博」

### 【事業目的】

福島県にとって子どもは宝物である。放射線問題、東日本大震災により心身ともに大きな不安を抱えて生きる子どもたちが、苦難に負けず、今以上の笑顔と将来に対する夢を持ってもらうため、官民学は一体となりサポートするプロジェクトをスタートする。

大学、小中学校、公民館などの屋内施設を活用した体力・知力向上メニュー、おもちゃを活用したイベント（キッズ博 in ふくしま）などを実施。県外に避難している子どもたちや母親らが故郷に戻りたいと思える住環境を整備する。さらには、子どもたちが風評被害にさらされている故郷・福島県を愛し、誇りに感じるようにする。「生まれて良かった」「住んで良かった」と感じられる福島県を再び創出、全国の人たちに福島県の魅力をアピールする。

### 【事業実施状況・成果】

開催日：8月4日（土）～5日（日）10：00～17：00  
会場：あづま総合体育館（福島市佐原字神事場1）  
※入場無料

- ◆メインアリーナ  
玩具メーカーのおもちゃ展示、プレイコーナー
- ◆ステージ  
キャラクターショー
- ◆ホール  
協賛各社のブース（子どものための展示）
- ◆研修室  
アニメ上映会

#### 【成果】

- ①屋内の広い遊び場の恒常的な提供（あづま総合体育館、福島大など）
- ②子どもたちの体力、学力の向上に寄与
- ③故郷へ帰還しやすい子育て環境の創出
- ④玩具、絵本、映画、新聞を活用し、子どもたちの心を癒し、あすを切り拓く強い心を養い、周りをいたわる思いやりを醸成
- ⑤大学生による子育て支援ボランティア団体の組織化

### 【今後予想される事業効果】

おもちゃで遊ぶだけでなく、「何かに挑戦し達成感を感じる」イベントとした。そのため、「世界の丸もちアートプロジェクト」ではギネス記録を達成した。参加した子どもたちの大きな自信に繋がった。

今回のイベントは県内に留まり生活を続ける子どもたち、母親らに心の安らぎを与え、県外に流出した県民、特に子どもたちを県内に戻すことを大きな目的にしている。屋内遊び場の新設などにより、子育て環境が改善され、県外避難者を増やさないようになれば、人口流出に歯止めがかけられる。